

授業科目 教職総合演習

【担当教員名】 石原 美由紀		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 教職総合演習は、人間尊重・人権尊重、地球環境や異文化理解など人類に共通するテーマについて少子・高齢化と福祉、家庭のあり方など、わが国の社会全体に関わるテーマについて理解を深めるのみならず、これらの諸問題に係る内容を適切に指導することが出来る方法及び技術を修得することを目的としている。このために、上記課題に関して分析及び検討するだけでなく、生徒に指導できるようにするため、本学の特徴を生かしつつ、グループワークやプレゼンテーションを取り入れ、将来教壇に立つ学生の主体的参加により創り上げる演習を目指す。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 「総合的な学習の時間」の意義について理解する。 2. 研究的な取り組みによって得られた情報を基に結果を整理し、考察できる。 3. グループにおいて今日的課題について協動的に追求することができる。 4. 取り組んだ課題についてプレゼンテーションできる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	イントロダクション				講義
2	教育課程における「総合的な学習の時間」「総合的な学習の時間」の位置づけと意義				講義
3	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（1）				小グループ作業
4	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（2）				小グループ作業
5	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（3）				小グループ作業
6	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（4）				小グループ作業
7	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（5）				小グループ作業
8	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（6）				小グループ作業
9	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（7）				小グループ作業
10	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（8）				小グループ作業
11	プレゼンテーションと相互評価（中間）				発表
12	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（9）				小グループ作業
13	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題探求（10）				小グループ作業
14	プレゼンテーションと相互評価・自己評価（最終）				発表
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		特に指定しない 適宜プリント配布			
【評価方法】 レポート、発表内容、授業・小グループ作業 態度、出席日数			【履修上の留意点】 教員を目指して真摯に課題に取り組むこと。 * この科目は平成 21 年度までの入学者が対象の科目です。		